

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

2011 年 11 月 14 日

派遣者氏名（専門分野）	田中 晶子 （ ドイツ現代史 ）
-------------	------------------

派遣期間	2011 年 7 月 28 日 ～ 2011 年 9 月 27 日
------	-----------------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
ドイツ連邦共和国	ベルリン	ベルリン自由大学付属 APO 文書館 Archiv „APO und soziale Bewegungen“ (Apo-Archiv)

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法を記入）

【文書館の概要】

ベルリン自由大学付属 APO 文書館は、名称どおり、1960 年代末に西ドイツで展開された APO（議会外反対運動や学生運動の総称）と社会運動に関する史料を所蔵した文書館です。地域的には西ベルリンが中心ですが、その他の地域についても網羅的に収集しており、対象もドイツ社会主義学生同盟から、共和主義クラブ、Kグループなど多種多様な団体におよび、ポスト学生運動期にあたる 1970～80 年代の社会運動に関する史料も数多く所蔵しています。同種の文書館としては、おそらくドイツ最大規模のコレクションになります。

ベルリン自由大学の政治学の教授であったレンネンドンカー先生が退職後も代表を務めており、現在でも 2 週間に 1 回程度、文書館を訪問されます。通常の利用・調査は、専属の文書館員が担当しています。APO 文書館の HP：<http://web.fu-berlin.de/APO-archiv/Index.htm>
（中央の Eintritt frei の横にある口を押すと入れます）

【交通アクセス】

ベルリン自由大学の地理学キャンパスの建物 G の地下にあります。
地下鉄のシュテーグリッツ市役所駅で下車、バス 283X 系統に乗り換えて 20 分ほどのエーミヒ・シュトラッセで下車、すぐ向かい側に地理学キャンパスがあります。市電のランクヴィッツ駅からは上記のバスを利用するか、徒歩 20 分ほどで到着します。

【申請書類・利用手続き】

HP に記載されているメールアドレス (archiv@fu-berlin.de) 宛てに、所属、訪問目的、訪問予定期間、具体的な研究テーマと調査したいおおよその史料・領域について問い合わせのメールを送信すると、文書館員から折り返し、訪問方法・初回の打ち合わせの時間帯について連絡がもらえます。

初日の訪問日に、正式な利用申請書類に記入し、提出する必要があります。なお APO 文書館で調査した史料を使用して、学術論文・書籍を発表・出版した場合、文書館にも公開後 1 部送付する必要があります。ただし、ドイツ語・英語・フランス語の場合のみで、日本語の論文などは提出する必要はないとのことです（日本語を読める担当者がいないため）。

夏期や冬期、春期には、専属の文書館員が長期休暇で不在の場合があります。その場合にも、非常勤の代替館員が担当するので、訪問・利用は可能です。ただし、史料調査に関する助言やその他

の相談は、期待できないかもしれません。

【リサーチ方法】

基本的には文書館員に指定の史料を注文する形になりますが、開放的な文書館で、実際に自分の目で蔵書を見て回って、調査したい史料や二次文献を探すこともできます。また、スケジュールがあれば、直接レンネドンカー先生に相談することもできますので、次の予定訪問日を教えてもらえるよう、館員の方に質問してみましよう。史料の所蔵や不明な点については、先生に電話で相談することも可能です。上記のHPでも、所蔵史料について概観を得ることができるので、事前に調べておくとう便利です。HPに記載されていない史料も多くあります。

文書館で注文した史料は、同じ建物 G にある地理学図書館 2 階に運ばれ、そこで閲覧・調査することになります。地理学図書館 2 階に APO 文書館利用者専用の机と史料を保管しておくロッカーがあります。この保管用ロッカーの鍵を使用するためには、パスポートかクレジットカードを図書館員に毎回預ける必要がありますので、利用の際には常に携帯してください。

地理学図書館にはバッグやコートは持ちこめません。入口のロッカーを使用する際には 2 ユーロの硬貨が必要です（使用后、返却されます）。デジタルカメラ、ラップトップ型コンピュータは、カバーを外せば、館内に持ち込み可です。

文書館員は総じてたいへん親切ですので、わからない点があれば遠慮せずに相談してみましよう。隣接する学生食堂を利用したい場合には、お願いすれば、職員用のカードを利用できるよう、手続きをしてくれます。

【注意すべき点】

基本的に文書館史料のコピーは、文書館内のコピー機のみで許可されています。コピー費用は、1 枚 50 セントと高額なので、デジタルカメラでの撮影（50 枚で 5 ユーロ）を館員から勧められます。訪問の際には、是非、デジタルカメラを持参してください。